

名寄市 風連本町地区

(風連中心市街地区)



↑ 地区の核 (交流センター・スーパー・金融機関)

【事業の目的】

本地区は古くから風連町のまちの顔として経済文化の拠点として発展してきました。人口の減少、商業機能が衰退してきたことから、商店街の魅力づくりや回遊性の強化など中心市街地の魅力向上が求められていました。さらに、急速に進む高齢化社会とともに、名寄市との合併や名寄地区への大型店舗の進出による地域経済力の流失、そして、コミュニティが崩壊するという危機感から、地元有志により再開発勉強会を発足し、地域と商工会及び行政が協力をしながら、身の丈にあった再開発事業に取り組んできました。

拠点となる地域内には、幹線道路である国道と道道が交差し、その交差点を中心に4つの地区に分割した計画としました。それぞれの地区が老朽家屋の密集や未利用地の存在など土地利用が不健全であることから、地区ごとの整備方針を創り、土地の高度利用の促進と良好な市街地環境の創出により、市街地の活性化を目的としてまちづくりを進めました。

施設は権利者の商業・居住棟、JAの商業施設、金融・業務棟、公共施設(コミュニティセンター・健康センター)や診療所・食品スーパーなどで構成され、中心部に生活利便機能が集約された新しい市街地が生まれ、多くの方々に利用されています。

【施設の概要】

事業期間：平成19年度～平成22年度  
 施行者：(株)ふうれん (民間)  
 所在地：名寄市風連町本町  
 地区面積：1.19ha  
 敷地面積：12,507㎡  
 建築面積：5,805㎡  
 延床面積：9,234㎡  
 用途：  
 A地区：地域交流センター・事務所・日曜品店舗  
 B地区：日曜品店舗・飲食店・共同住宅  
 C地区：店舗・住宅  
 D地区：診療所・健康センター  
 階数等：地上2～4階、6棟  
 RC造及びS造  
 総事業費：2,529(百万円)  
 うち国費：1,118(百万円)

位置図



配置図

